

単元(題材)名	ことばに親しもう
---------	----------

【到達目標】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話することができる。
思・判・表	○ 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。
	○ 自分と友達との共通点や相違点などを、ビンゴゲームを通して考えたり発表したりすることができる。
	○ 質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分のことを知ってもらうために、進んでビンゴゲームをしたり、話し合ったりしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 自分のことを知ってもらうために、ビンゴゲームを通して間の取り方などに注意して話している。
思・判・表	○ 自分の好きなものや得意なことなど、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。
	○ 自分と友達との共通点や相違点を確かめながら、ビンゴゲームをしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の好きなものや得意なことなどをカードに書こうとしている。
	○ カードを使ってビンゴゲームをしようとしている。
	○ 自分のことを知ってもらうために、進んでビンゴゲームをしたり、話し合ったりしようとしている。

単元(題材)名	ことばに親しもう
---------	----------

【到達目標】

知・技	○ 詩の構成や内容の大体を意識しながら音読できる。
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 「かえるのびよん」を読み，内容をイメージしたり，イメージしたことをもとに音読することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「びよん」になったつもりで，様子や気持ちをイメージしながら音読し合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 「かえるのびよん」のくりがえしの表現や連ごとの内容の大体を意識しながら音読している。
思・判・表	○ 「びよん」の跳んでいる様子や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えている。
	○ 「かえるのびよん」を読み，詩の情景についてイメージを広げたり，音読し合ったりしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「びよん」になったつもりで，様子や気持ちをイメージしながら読み方をいろいろ工夫して音読し合っている。

単元(題材)名	ー ばめんのつながりに気をつけて読もう
---------	---------------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉と言葉の関係や役割について理解することができる。
	○ 物語を読んで、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えることができる。
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 書く内容を明確にし、文章の構成を考えることができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ゆうたや女の子の行動に関心をもち、気に入った言葉に着目して、想像をふくらませながら読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 「白い花びら」の中で気に入った言葉や表現を捉え、またその理由を説明している。
	○ 「白い花びら」を読み、必要な知識や情報を得ている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ ゆうたを中心に、かずきや女の子の行動や気持ちなどについて、叙述をもとに捉えている。
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
	○ 女の子に対するゆうたの気持ちがどのように変わっているか、自分の考えをまとめ、友達と紹介し合っている。
	○ 女の子について不思議だと思うところを、場面ごとに考えてノートにまとめている。
	○ ゆうたは再び女の子と会えるか、自分の考えをノートにまとめ、友達と意見を伝え合っている。
	○ 「白い花びら」を読んで、感じたことや想像したことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 3人の登場人物の性格や行動などの特徴をノートにまとめている。
	○ 女の子に対するゆうたの気持ちの変化を考えている。
	○ ゆうたを中心にかずきや女の子の行動や気持ちを読みながら、気に入った言葉に着目して、物語を楽しんでいる。

単元(題材)名	毎日の「発見」を書きためましょう。
---------	-------------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して、経験したことから書くことを選び、伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 事実やそれをもとに考えたことを「発見ノート」に書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 毎日の生活の中で、見つけたことを「発見ノート」に書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 「発見ノート」を書くことをとおして、言葉にはさまざまな働きがあることに気づいている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 「発見ノート」の書き方をもとに、経験したことを選び、伝えたいことを明確にして書いている。
	○ 事実やそれをもとに考えたことを「発見ノート」に書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 毎日の生活の中で、見つけたことを「発見ノート」に書いている。

単元(題材)名	国語辞典の引き方
---------	----------

【到達目標】

知・技	○ 辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 国語辞典の引き方を知り、日常生活でも積極的に活用しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し、使っている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 国語辞典の引き方を知り、日常生活でも積極的に活用している。

単元(題材)名	二 すじみちを立てて発表しよう
---------	-----------------

【到達目標】

知・技	○ 考えとそれを支える理由や事例について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、伝えたいことが明確になるよう話の構成を考えることができる。
	○ 伝えたいことの中心を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。
	○ 説明や報告などを話したり、それらを聞いたりして、筋道を立てた発表をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 宝物の紹介をとおして、「話す前」「話すとき」「聞くとき」に気をつけて筋道を立てた発表をしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 自分の宝物とそれはなぜ宝物か、その理由や事例について理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 伝えたいことが伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の組み立てを考えている。
	○ いちばん伝えたいことを意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。
	○ 自分や友達の宝物について紹介したり、それらを聞いたりして、筋道を立てた発表をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 伝えたいことが伝わるように、組み立てを考えている。
	○ 宝物の紹介をとおして、「話す前」「話すとき」「聞くとき」に気をつけて筋道を立てた発表をしている。

単元(題材)名	大事なことは何か考えて、メモを取りましょう。
---------	------------------------

【到達目標】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 必要なことをメモしたり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。
	○ 質問するなどして情報を集め、それをもとに聞きたいことを確かめる活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 地図をもとに、目的地までの道順をメモを取って聞き、目的地まで行こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 必要なことをメモしたり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたい目的地を確かめている。
	○ 知りたいことや確かめたいことなどを質問して情報を集め、目的地を確かめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 目的地まで行けるように、地図をもとに、目的地までの道順をメモを取りながら聞いている。

単元(題材)名	漢字の広場①
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 第3学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 漢字の読み方・組み立て・意味・使い方を知り、正しく書いている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み方・組み立て・意味・使い方などをまとめた「漢字学習ノート」を作り、漢字を使った言葉を集めたり、文中で正しく使ったりしようと

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
	○ 漢字の読み方・組み立て・意味・使い方を知り、正しく書いている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 読み方・組み立て・意味・使い方などをまとめた「漢字学習ノート」を作り、漢字を使った言葉を集めたり、文中で正しく使ったりしてい

単元(題材)名	二年生で学んだ漢字①
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 考えた文章とそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 48ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，絵の中の様子を具体的に文章に書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 2年生で学習した漢字を使って文章を書いている。
思・判・表	○ 絵の中の言葉と漢字を使って，書き表し方を工夫し，絵の中の様子を書いている。
	○ 48ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 48ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，絵の中の様子を具体的に書いている。

単元(題材)名	三 だんらくの要点をつかもう
---------	----------------

【到達目標】

知・技	○ 段落の役割などについて理解することができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら，考えとそれを支える理由や事例との関係などについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 目的を意識して，中心となる文とそれを説明する文を見つけることができる。
	○ 報告文を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明したり，意見を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 説明文の構成や，その読み方を理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 段落の役割について理解しながら，「うめぼしのはたらき」を読んでいる。
	○ 「なぜうめぼしを食べるのか」，その理由や事例，全体と中心などの関係について理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら，「なぜうめぼしを食べるのか」，その理由や事例との関係などについて，叙述をもとに捉えている。
	○ 「うめぼしのはたらき」の中心となる文，説明する文を見つけている。
	○ 「うめぼしのはたらき」を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明したり，意見を述べたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 脚注を参考に，説明文の構成を確かめている。
	○ 確かめたことをもとに，他の段落を読み，説明文の読み方を確かめている。

単元(題材)名	三 だんらくの要点をつかもう
---------	----------------

【到達目標】

知・技	○ 段落の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら、めだかが生きている理由や事例との関係などについて、叙述をもとに捉えることができる。
	○ 段落の中心となる語や文を見つけて、段落の要点をまとめることができる。
	○ 説明文を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりすることができる。
	○ 学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ めだかの身の守り方や体の特徴など、段落相互の関係に着目したり、段落の要点をまとめたりしながら読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 段落の役割について理解しながら、「めだか」を読んでいる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 段落相互の関係に着目しながら、めだかの身の守り方や体の特徴などについて、叙述をもとに捉えている。
	○ 段落の中心となる語や文を見つけて、その段落の要点をまとめている。
	○ 「めだか」を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりしている。
	○ めだかについて、教科書以外の情報を事典や図鑑などから得て、わかったことなどをまとめて説明している。
	○ 「めだか」を読んでわかったことを、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えてまとめ
	○ 「めだか」を読んで思ったこと・考えたことについて、理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「めだか」を読んでわかったことを文章にまとめるなど、事実やそれをもとに考えたことを書いている。
	○ めだかの何について説明しているのか、文章を大きく二つに分けている。
	○ 「めだか」を読んでわかったことを文章にまとめている。
	○ めだかの身の守り方や体の特徴などについて、段落相互の関係に着目したり、段落の要点をまとめたりしながら読んでいる。

単元(題材)名	声に出して読み，言葉のリズムを楽しみましょう。
---------	-------------------------

【到達目標】

知・技	○ 易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりして，言葉の響きやリズムに親しむことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして，文や文章を整えることができる。
	○ 俳句を読んで，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 俳句の形式やその内容の大体を知るとともに，声に出して読み，言葉のリズムを楽しもうとする。

【評価規準】

知・技	○ 易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどして，言葉の響きやリズムに親しんでいる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 好きな俳句を選んだ理由が相手に伝わるような表現になっているかを確認したりして，文や文章を整えている。
	○ 俳句を読んで，感じたことや想像したことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 俳句の形式やその内容の大体を知るとともに，声に出して読み，言葉のリズムを楽しんでいる。

単元(題材)名	四 しりょうを集めて活用しよう
---------	-----------------

【到達目標】

知・技	○ 必要な語句などの書き留め方，引用の仕方や出典の示し方，辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	○ 記録や報告などの文章を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明することができる。
	○ 学校図書館などを利用し，事典や図鑑などから情報を得て，わかったことなどをまとめることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 目次や索引の役割を知り，必要な情報を得るために，それらを活用して効果的に本を読み，知りたいことを調べようとする。

【評価規準】

知・技	○ 「読書カード」を，必要な語句などを書き留めたり，出典を示したりして書くことができる。
	○ 本の目次や索引の役割とその活用の仕方を理解している。
	○ 読みたい本を探して，調べたことを「読書カード」に書き，読み合っている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 「本を読んでわかったこと」など，中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	○ 記録や報告などの文章を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことについて「読書カード」に書き，読み合っている。
	○ 学校図書館などを利用し，事典や図鑑などから情報を得て，わかったことなどをまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 目次や索引の役割を知り，必要な情報を得るために，それらを活用して効果的に本を読み，知りたいことを調べている。

単元(題材)名	四 しりょうを集めて活用しよう
---------	-----------------

【到達目標】

知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，自分が調べたいことから書くことを選び，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考え，書くことができる。
	○ 調べたことをまとめて説明するなど，本や図鑑で確かめたことをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 生き物の特徴を説明する文章を書き，クラスで「生き物ブック」を作り，友達と読み合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ クラスの「生き物ブック」をつくるために，調べたい生き物を選び，その特徴を探し，比較したり分類したりして，伝えたいことを明確に
	○ 書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章を書いている。
	○ 図や資料，理由や具体的な例を挙げて，調べたことをまとめた文章を書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 調べたい生き物の特徴を探し，組み立てメモを作っている。
	○ 組み立て表を読み合い，検討している。
	○ 生き物の特徴を説明する文章を書き，クラスで「生き物ブック」を作り，友達と読み合っている。

単元(題材)名	漢字の広場②
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 第3学年までに配当されている漢字を読むことや、文や文章の中で使うことができる。
	○ 漢字の音と訓を理解し、文の中で使い分けることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字には、音と訓の二つの読み方があることを理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
	○ 漢字には音と訓があることがわかり、文の中で使い分けている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字には、音と訓の二つの読み方があることを理解している。

単元(題材)名	二年生で学んだ漢字②
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，絵の中の言葉や漢字を使って，経験したことや想像したことなど，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 80ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，夏休みのことについて具体的に文章に書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 2年生で習った漢字を使って，文や文章を書いている。
思・判・表	○ 絵の中の言葉や漢字をもとに，経験したことや想像したことなどから書くことを選び，夏休みの日記を書いている。
	○ 80ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書いている。
	○
主体的に学習に取り組む態度	○ 80ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，夏休みのことについて具体的に書いている。

単元(題材)名	五 登場人物のせいかくを考えながら読もう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増やし，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えることができる。
	○ 登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
	○ 書く内容の中心を明確にして，文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の展開に即して，リョウとのかいねことのふれあいを，そのときの様子や気持ちを想像しながら読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ リョウやのかいねこの様子や行動，気持ちや性格を表す語句を読み，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにしている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ リョウやのかいねこの行動や気持ちなどについて，叙述をもとに捉えている。
	○ リョウやのかいねこの気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
	○ 「のかいねこ」を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
	○ 「のかいねこ」を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりしている。
	○ 「のかいねことリョウのかいねこのちがい」「『のかいねこ』を読んだ感想」など，書く内容の中心を明確にして文章の構成を考えている。
	○ 「のかいねこ」を読んだ感想とそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	○ のかいねことリョウの言葉と行動と，そこから気づいたことをノートにまとめている。
	○ のかいねこは，リョウとかいねこの姿を，屋根の上からどのような気持ちや様子で見ていたか話し合っている。
	○ 場面の展開に即して，リョウとのかいねことのふれあいを，そのときの様子や気持ちを想像しながら読んでいる。

単元(題材)名	きせつを表す言葉を集めましょう。
---------	------------------

【到達目標】

知・技	○ 長い間使われてきた季節に関わる日本語の意味を知り，使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 四季や新年を表す言葉を選び，それらを比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 季節（四季・新年）の言葉，季節を感じる言葉を集めようとする。

【評価規準】

知・技	○ 長い間使われてきた季節に関わる日本語の意味を知り，使っている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 自然や生活の中から，四季や新年を表す言葉を選び，それらを比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にしている。
	○ 自然や生活の中から，四季や新年を表す言葉を調べて報告している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 季節（四季・新年）の言葉，季節を感じる言葉を集めている。

単元(題材)名	しゃしんから気づいたことを集めよう
---------	-------------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
思・判・表	○ 目的や進め方を確認し、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 写真をもとに気づいたことや感想を話し合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 写真を見て話し合うことをとおして、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
思・判・表	○ 写真を見て気づいたことや想像したことを話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループで話し合いをしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 写真をもとに、気づいたことや感想を友達と話し合っている。

単元(題材)名	六 つたえたいことをはっきりさせて書こう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 丁寧な言葉を使うとともに，敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，自分の考えをもつことができ
	○ 書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 聞きたいことが相手に伝わるように，理由や事例などを挙げながら，聞くことの中心が明確になるよう構成を考えることができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ いちばん伝えたいことを中心にして，段落のつながりを考えて報告文を書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 丁寧な言葉を使うとともに，敬体と常体との違いに注意しながら書いている。
	○ 自分の考えと取材した内容，全体と中心にする内容など，情報と情報との関係について理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 必要なことを記録したり質問したりしながら聞き，話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え，メモをしている。
	○ インタビューをするなどして情報を集めたり，それらを報告文として発表したりする活動ができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし，取材して分かったことと自分の考えを区別したり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えてい
	○ 調べたことやわかったことと，思ったこととの関係を明確にして，書き表し方を工夫している。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書く活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 知りたいことをまとめて「取材メモ」を作っている。
	○ 「取材メモ」をもとに調べている。
	○ いちばん伝えたいことを中心にして，段落のつながりを考えて報告文を書いている。

単元(題材)名	六 つたえたいことをはっきりさせて書こう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	☐ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くことができる。
	☐ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	☐ 自分の気持ちとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、手紙の書き方を工夫することができる。
	☐ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 自分の気持ちを手紙に書いて、伝えようとする。

【評価規準】

知・技	☐ 丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。
	☐ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	☐ 自分の気持ちとそれを支える理由や事例との関係について、相手や目的によって、手紙の書き方を工夫している。
	☐ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書いている。
主体的に学習に取り組む態度	☐ 自分の気持ちを手紙に書いて、伝えている。
	☐ いろいろな手紙を書き、手紙のよさを確かめている。

単元(題材)名	漢字の広場③
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方を理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 送り仮名を理解し，文中で使おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 漢字と仮名を用いた表記，送り仮名の付け方を理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 送り仮名を理解し，文中で使っている。

単元(題材)名	二年生で学んだ漢字③
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，絵の中の言葉や漢字を使って，経験したことや想像したことなどを書くことが
	○ 2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 114ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，外でやりたいことについて具体的に文章に書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 2年生で習った漢字を使って，文や文章を書いている。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，絵の中の言葉や漢字を使って，外でやりたいことを書いている。
	○ 114ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 114ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，外でやりたいことについて具体的に書いている。

単元(題材)名	七 場面のうつりかわりに気をつけて読もう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくったり，段落相互の関係に注意したりして，文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 登場人物に手紙を書くなど，読んで考えたことをもとに想像したことを書く活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の様子や人物の心情を思いうかべながら，あなぐまが森のみんなに残してくれた「おくりもの」は何だったのかを読もうとする。

【評価規準】

知・技	○ 物語を読むことで，主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解してい
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ あなぐまと森の動物たちの気持ちの変化や情景について，場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。
	○ 「わすれられないおくりもの」を読んで，感想や考えをもっている。
	○ 「わすれられないおくりもの」を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりしている。
	○ 森の動物たちにとって「わすれられないおくりもの」とは何だったのかについて，内容のまとまりで段落をつくって，文章の構成を考えて
	○ 自分の考えとそれを支える理由との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。
	○ 「わすれられないおくりもの」を読んで，それをもとに想像したことなどを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 森の動物たちのあなぐまとの思い出を整理している。
	○ あなぐまはどのような気持ちでみんなに教えていたのか友達と話し合っている。
	○ 森の動物たちにとって，「わすれられないおくりもの」とはどのようなものか，ノートに書いている。
	○ 場面の様子や人物の心情を思いうかべながら，あなぐまが森のみんなに残してくれた「おくりもの」は何だったのかを読んでいる。

単元(題材)名	ローマ字
---------	------

【到達目標】

知・技	○ 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くことができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ ローマ字の書き表し方のきまりがわかり、日常使う単語をローマ字で読み書きしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 身の回りにあるものでローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ ローマ字の書き表し方のきまりがわかり、身の回りのものや日常使う単語をローマ字で読み書きしている。

単元(題材)名	ローマ字とコンピューター
---------	--------------

【到達目標】

知・技	○ 日常使われている簡単な単語について、ローマ字でコンピューターに入力することができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ ローマ字の書き表し方のきまりがわかり、日常使う単語をローマ字でコンピューターに入力しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で入力している。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ ローマ字の書き表し方のきまりがわかり、日常使う単語をローマ字でコンピューターに入力しようとしている。

単元(題材)名	一 絵文字の特長をとらえよう
---------	----------------

【到達目標】

知・技	○ 絵や図には、考えたことや思ったことを世界の人に伝える働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うことができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 絵や図には、世界の人に伝わるような働きがあることを理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 絵や図には、考えたことや思ったことを世界の人に伝える働きがあることに気づいている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 2020年のオリンピックで使われた絵や図を集め、比較したり分類したりして、話し合うために必要な事柄を選んでいる。
	○ 絵や図についての互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合っている。
	○
主体的に学習に取り組む態度	○ 絵や図には、世界の人に伝わるような働きがあることがわかっている。

単元(題材)名	一 絵文字の特長をとらえよう
---------	----------------

【到達目標】

知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解することができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的を意識して，中心となる語や文を見つけて要約することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
	○ 文章を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明したり，意見を述べたりすることができる。
	○ 学校図書館などを利用し，事典や図鑑などから情報を得て，わかったことなどをまとめて説明する文章を書くことができる。
	○ 身の回りで見つけた絵文字から書くことを選び，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
	○ くらしと絵文字とのかかわりを，段落のつながりや段落の要点に注意して読もうとする。
	○ 身の回りの絵文字について，自分なりの視点で説明する文章にまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係，指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解している。
	○ 筆者の主張とそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 「絵文字の特長」や「絵文字のこれから」について，中心となる語や文を見つけて要約している。
	○ 友達の書いた文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。
	○ 友達の書いた文章を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明したり，意見を述べたりしている。
	○ 学校図書館などを利用し，絵文字についての情報を得て，わかったことなどをまとめて説明する文章を書いている。
	○ 身の回りで見つけた絵文字から書くことを選び，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にしている。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	○ 調べたことをまとめて，事実やそれをもとに考えたことを説明する文章を書いている。
	○ くらしと絵文字とのかかわりを，段落のつながりや段落の要点に注意して読んでいる。
	○ 身の回りの絵文字について，自分なりの視点で説明する文章にまとめている。

単元(題材)名	一 絵文字の特長をとらえよう
---------	----------------

【到達目標】

知・技	○ 話し合いをメモするために、必要な語句などの書き留め方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 学校や町の施設を絵文字で表すために、話し合いをしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 学校や町の施設を絵文字で表すための話し合いをメモするために、必要な語句などの書き留め方を理解して使っている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 絵文字に表すための話し合いで、司会などの役割を果たしながら、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。
	○ 絵文字に表すため、互いの考えを伝えるなどして、グループで話し合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 役割を決めて、話し合いの進め方を確かめている。
	○ 学校や町の施設を絵文字で表すために、話し合いをしている。

単元(題材)名	気持ちをつたえる話し方・聞き方
---------	-----------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合うことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 気持ちは、「話し方・聞き方」の違い以外に、表情や姿勢、うなずき方などでも伝えられることを理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 相手に伝わるように、話し方や聞き方などの働き（言葉・表情・姿勢・うなずき方）を考えている。
	○ 気持ちは、言葉以外に、表情や姿勢、うなずき方などでも伝えられることを、グループや学級全体で話し合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 同じ言葉でも、場面や言い方によって気持ちの伝わり方が違うことについて考えている。
	○ 気持ちは、言葉以外に、表情や姿勢、うなずき方などでも伝えられることについて考えている。

単元(題材)名	漢字の広場④
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 漢字が、へんやづくりなどから構成されていることについて理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の構成を理解し、「へんやづくり」にも意味があることを理解しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 左右に分けられる漢字では、右側の部分を「へん」、左側の部分を「づくり」といい、それぞれに意味を表すものがあることを理解してい
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字の構成を理解し、「へんやづくり」にも意味があることを理解している。

単元(題材)名	二年生で学んだ漢字④
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，絵の中の言葉や漢字を使って，経験したことや想像したことなど書くことがで
	○ 2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 32ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，教室の様子を具体的に文章に書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 2年生で習った漢字を使って，文や文章を作っている。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，絵の中の言葉や漢字を使って，教室の様子を書いている。
	○ 32ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 32ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，教室の様子を具体的に文章に書いている。

単元(題材)名	二 登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう
---------	------------------------

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 登場人物の気持ちの変化や性格，情景について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
	○ 目的を意識して，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面や情景の移り変わりとともに変化する豆太の気持ちを想像豊かに読むとともに，物語のおもしろいところを紹介する文章を書こうとす

【評価規準】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを
	○ 「モチモチの木」を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。
	○ 「モチモチの木」を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりしている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 豆太の気持ちの変化や性格について，場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。
	○ 「モチモチの木」のおもしろいところを，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことをはっきりさせて紹介し合っている。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。
	○ 感じたことや想像したことをノートにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 豆太の気持ちの変化を，場面の移り変わりに合わせてノートに整理している。
	○ 物語の初めと終わりで，豆太は変わったのか，考えと理由を話し合っている。
	○ 場面や情景の移り変わりとともに変化する豆太の気持ちを想像豊かに読むとともに，物語のおもしろいところを紹介する文章を書いてい

単元(題材)名	「おすすめ図書カード」を作ろう
---------	-----------------

【到達目標】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。
	○ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。
思・判・表	○ 気に入った本を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。
	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 物語などの文章を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、感想を書いたりすることができる。
	○ 学校図書館などを利用し、物語などから情報を得て、わかったことなどをまとめて説明することができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「おすすめ図書カード」を作り、おもしろかった本を紹介し合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ どのような本を「おすすめ図書カード」に書くか、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
	○ 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。
思・判・表	○ 気に入った本を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。
	○ 本を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
	○ 物語などの文章を読み、文章の一部を引用して、わかったことや考えたことを説明したり、感想を書いたりしている。
	○ 学校図書館などを利用し、物語などを読んで、よかったところや気に入ったところなどを短くまとめようとしている。
	○ 読んでよかったところや気に入ったところなど、登場人物の気持ちを想像しながら考えたことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「おすすめ図書カード」を作り、おもしろかった本を紹介し合っている。

単元(題材)名	こそあど言葉
---------	--------

【到達目標】

知・技	☐ 指示する語句の役割について理解することができる。
	☐ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	☐ 指示語の働きや使い方を理解しようとする。

【評価規準】

知・技	☐ 指示する語句（こそあど言葉）の役割について理解している。
	☐ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	☐ 指示語の働きや使い方を理解している。

単元(題材)名	心が動いたことを、詩に書きましょう。
---------	--------------------

【到達目標】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。
	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 間違いを正したり，表現を工夫したりして，文や文章を整えることができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見つけることができる。
	○ 詩や物語をつくるなど，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の周りに目を向けて，心が動いたことや強く感じたことを，表現を工夫して詩に書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。
	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，詩を書く中で使うとともに，語彙を豊かにしている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 間違いを正したり，表現を工夫したりして，詩を書こうとしている。
	○ 心が動いたことが明確になっているかなど，詩に対する感想や意見を伝え合い，自分の文章のよいところを見つけている。
	○ 詩をつくるなど，感じたことや想像したことを，表現を工夫して書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分の周りに目を向けて，心が動いたことや強く感じたことを，表現を工夫して詩に書いている。

単元(題材)名	ことわざ・慣用句の意味を調べて、カードにまとめましょう。
---------	------------------------------

【到達目標】

知・技	○ 長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り，使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ ことわざ・慣用句の成り立ちや意味を知り，その正しい使い方がわかるようにカードにまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ 長い間使われてきたことわざや慣用句の意味を知り，使っている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ ことわざや慣用句の意味を調べ，その正しい使い方がわかるような書き表し方を工夫している。
	○ ことわざ・慣用句を集め，カードにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ ことわざ・慣用句の成り立ちや意味を知り，その正しい使い方がわかるようにカードにまとめている。

単元(題材)名	かぞえうた／かぞえよう
---------	-------------

【到達目標】

知・技	○ 語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して，登場人物の行動を具体的に想像することができる。
	○ 文章を読んで感じたことやわかったことを共有することができる。
	○ 物語などを読んで，内容や感想などを伝え合ったり，演じたりする活動ができる。
	○ 伝えたい事柄や相手に応じて，声の大きさや速さなどを工夫することができる。
	○ 話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き，話の内容を捉えて感想をもつことができる。
	○ 紹介や説明，報告など伝えたいことを話したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動ができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の様子や，じいさまとばあさまの行動や心情を思いうかべながら読み，役割をきめて音読発表会をしようとする。

【評価規準】

知・技	○ 会話や情景を中心に言葉の響きなどに気をつけて音読している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 場面の様子に着目して，じいさま・ばあさまの行動や心情を具体的に想像している。
	○ 「かさこじぞう」を読んで感じたことやわかったことを共有している。
	○ 物語などを読んで，内容や感想などを伝え合ったり，音読劇をしたりする活動をしている。
	○ 音読劇をするとき，じいさま・ばあさまなどの行動や心情に応じて，声の大きさや速さなどを工夫している。
	○ ほかのグループの音読劇を集中して聞き，劇の内容を捉えて感想をもっている。
	○ 人物像や好きな場面を紹介したり，それらを聞いて感想を述べたりする活動をしている。
主体的に学習に取り組む態度	○ お話のできごとをまとめ，何が変わったのか考えている。
	○ じぞうさまは，なぜ，いろいろなものをじいさま・ばあさまに持っていったのか，紹介し合っている。
	○ 場面の様子や，じいさまとばあさまの行動や心情を思いうかべながら読み，役割をきめて音読発表会をしようとする。

単元(題材)名	三 調べて発表しよう
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。
	○ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合う活動をすることができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 地域の行事について調べ、資料を使って内容に合った方法を工夫して、わかりやすく発表しようとする。

【評価規準】

知・技	○ 相手を見て話すとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
	○ 聞いたり調べたりしたことのメモの仕方、引用の仕方や資料の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ わかりやすい話の順序を考えて、資料の提示の仕方、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。
	○ 互いの考えを伝えるなどして、グループや学級全体で話し合っている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 自分が住んでいる地域の行事について調べ、資料を使って内容に合った方法を工夫して、わかりやすく発表している。

単元(題材)名	文の組み立て
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 文の主語，述語がわかり，述語の四つの種類によって違う組み立てになる文や，修飾語を加えて組み立てられる文を知ろうとする。

【評価規準】

知・技	○ 主語と述語との関係，修飾と被修飾との関係について理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 文の主語，述語がわかり，述語の四つの種類によって違う組み立てになる文や，修飾語を加えて組み立てられる文があることを理解してい

単元(題材)名	漢字の広場⑤
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 漢字が，上下に分けられるものや外側を囲むものなどで組み立てられているとともに，意味がある場合があることを理解できる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字が，上下に分けられるものや外側を囲むものなどで組み立てられていることを理解するとともに，日常生活で読んだり書いたりしようと

【評価規準】

知・技	○ 漢字が，上下に分けられるものや外側を囲むものなどで組み立てられているとともに，その部分に意味がある場合があることを理解してい
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 漢字が，上下に分けられるものや外側を囲むものなどで組み立てられていることを理解しながら，日常生活で読んだり書いたりしている。

単元(題材)名	二年生で学んだ漢字⑤
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，絵の中の言葉や漢字を使って，経験したことや想像したことなどを書くことが
	○ 2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 82ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，部屋の様子を具体的に文章に書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 2年生で習った漢字を使って，文や文章を作っている。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，絵の中の言葉や漢字を使って，部屋の様子を書いている。
	○ 82ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 82ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，部屋の様子を具体的に文章に書いている。

単元(題材)名	四 図や写真と文章を、むすびつけて読もう
---------	----------------------

【到達目標】

知・技	○ 指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解することができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など，情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 説明文を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
	○ 説明文を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方に共通点や違いがあることに気づくことができる。
	○ 説明文を読み，文章の一部を引用して，わかったことや考えたことを説明したり，意見を述べたりすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 考えたことや感じたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 「川をさかのぼる知恵」を図と文章を結び付けて読み，自分の考えをまとめ，友達と感想を伝え合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 指示する語句と接続する語句の役割，段落の役割について理解して，「川をさかのぼる知恵」を読んでいる。
	○ 見沼通船堀の工夫や人々の知恵について理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 見沼通船堀を考えた人々の知恵について，感想や考えをもっている。
	○ 見沼通船堀を考えた人々の知恵について考えたことを共有し，一人一人の感じ方に共通点や違いがあることに気づいている。
	○ 見沼通船堀の工夫について，図などを引用して，わかったことや考えたことを説明したり，整理したりしている。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫している。
	○ 話し合ったことをもとに，考えたことや感じたことをノートにまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 見沼通船堀が必要になった理由を確かめている。
	○ 芝川と見沼代用水を行き来するための工夫を，図に書きこんで整理している。
	○ 「川をさかのぼる知恵」を図と文章を結び付けて読み，自分の考えをまとめ，友達と感想を伝え合っている。

単元(題材)名	昔から使われている言い方を見つけましょう。
---------	-----------------------

【到達目標】

知・技	○ 長い間使われてきた言い方の意味を知り，使うことができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 今の暮らしの中に残る昔からの言い方を見つけ，ノートにまとめようとする。

【評価規準】

知・技	○ 長い間使われてきた「年・じごく・方角・月のよび名」などの言い方の意味を知り，使っている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 十二支や月の呼び名など今の暮らしの中に残る昔からの言い方を見つけ，ノートにまとめている。

単元(題材)名	漢字の広場 ⑥
---------	---------

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，文章の中で使うとともに，語彙を豊かにすることができる。
	○ 考えとそれを支える理由や事例，全体と中心など情報と情報との関係について理解することができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして，文や文章を整えることができる。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，自分や友達の文章のよいところを見つけることができ
	○ 調べたことをまとめて報告するなど，事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 1年間の中でいちばん思い出に残っていることを，いちばん伝えたい場面を中心に書き，友達と読み合って感想を伝え合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，文章の中で使うとともに，語彙を豊かにしている。
	○ その時の会話や気持ち，様子を表す言葉など，全体と中心の関係について理解している。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 自分の気持ちや，その時の様子や会話などをはっきりさせて，書き表し方を工夫している。
	○ 間違いを正したり，目的を意識した表現になっているかを確かめたりして，文章を整えている。
	○ 書こうとしたことが明確になっているかなど，文章に対する感想や意見を伝え合い，自分や友達の文章のよいところを見つけている。
	○ 1年間でいちばん心に残っていることについて，事実やそれをもとに考えたことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 中心場面を考えながら，組み立て表を作っている。
	○ 1年間の中でいちばん思い出に残っていることを，いちばん伝えたい場面を中心に書き，友達と読み合って感想を伝え合っている。

単元(題材)名	漢字の広場⑥
---------	--------

【到達目標】

知・技	○ 二つの漢字でできた言葉には組み合わせ方に種類があることを理解し、言葉を作ることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 二つの漢字を組み合わせでいろいろな言葉を作ろうとする。

【評価規準】

知・技	○ 組み合わせ方を理解して、漢字二字の言葉を作っている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	
主体的に学習に取り組む態度	○ 二つの漢字を組み合わせでいろいろな言葉を作っている。

単元(題材)名	二年生で学んだ漢字⑥
---------	------------

【到達目標】

知・技	○ 第2学年までに配当されている漢字を書き，文や文章の中で使うことができる。
思・判・表	○ 間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして，絵の中の言葉や漢字を使って，経験したことや想像したこと
	○ 2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 104ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，町の様子を具体的に文章に書こうとする。

【評価規準】

知・技	○ 2年生で習った漢字を使って，文や文章を作っている。
思・判・表	○ 間違いを正したり，相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして，絵の中の言葉や漢字を使って町の様子を書いている。
	○ 104ページの言葉や2年生で学んだ漢字を使って，感じたことや想像したことを書いている。
	○
主体的に学習に取り組む態度	○ 104ページの絵の中の言葉と2年生で学んだ漢字をもとに，町の様子を具体的に文章に書こうとする。

単元(題材)名	六 登場人物の気持ちのうつりかわりを読もう
---------	-----------------------

【到達目標】

知・技	○ 様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにすることができる。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
思・判・表	○ 文章を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもつことができる。
	○ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。
	○ 物語を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりすることができる。
	○ 書く内容の中心を明確にし，内容のまとまりで段落をつくり，文章の構成を考えることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして，書き表し方を工夫することができる。
	○ 伝えたいことを手紙に書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面の移り変わりに注意して，おにたの様子や気持ちの移り変わりを想像しながら読み，おにたの心の動きを想像しながら，おにたに宛てた

【評価規準】

知・技	○ 物語を読むことで，様子や行動，気持ちや性格を表す語句の量を増し，話や文章の中で使うとともに，語彙を豊かにしている。
	○ 新しく習う漢字を正しく読んだり書いたりしている。
思・判・表	○ 「おにたのぼうし」を読んで理解したことに基づいて，感想や考えをもっている。
	○ 「おにたのぼうし」を読んで感じたことや考えたことを共有し，一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。
	○ 「おにたのぼうし」を読み，内容を説明したり，考えたことなどを伝え合ったりしている。
	○ ノートにまとめる時，内容の中心を明確にし，文章の構成を考えている。
	○ 場面の移り変わりを考えながら，麦わらぼうしを残して消えたおにたの気持ちに寄り添って，おにたにあてた手紙の書き表し方を工夫して
	○ 伝えたいことを手紙に書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ 場面ごとに移り変わるおにたの気持ちを想像している。
	○ 麦わらぼうしを残していなくなったおにたの気持ちを考えている。
	○ 場面の移り変わりに注意して，おにたの様子や気持ちの移り変わりを想像しながら読み，おにたの心の動きを想像しながら，おにたに宛て

単元(題材)名	国語の学習
---------	-------

【到達目標】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話することができる。
思・判・表	○ 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。
	○ 質問するなどして情報を集めたり、それらを発表したりすることができる。
	○ 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。
	○ 調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれをもとに考えたことを書くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり振り返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合おうとする。

【評価規準】

知・技	○ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。
思・判・表	○ この1年、どのような国語学習をしてきたか、心に残った教材や努力した学習など、話し合うために必要な事柄を選んでいる。
	○ 友達の思い出について質問したり、それについて自分の考えを発表したりしている。
	○ この1年間の学習で、印象に残った学習とその理由や事例を明確にして、書き表し方を工夫している。
	○ これまでの学習をまとめ、事実やそれをもとに考えたことを書いている。
主体的に学習に取り組む態度	○ この1年間の国語の学習をふり振り返りながら、これからの学習でどんな活動をしてみたいかを話し合っている。